

| 方針                                | 数値指標                     | 目標値の設定根拠                                      | 目標値設定の考え方 | 単位   | 目標値(R7) | 計画書記載現状値(H29) | 令和3年度実績値 | 令和4年度実績値 | 令和5年度実績値 | 令和6年度実績値 | 取組評価   | 【参考】現状値の算出方法  | 備考                            |
|-----------------------------------|--------------------------|---|-----------|------|---------|---------------|----------|----------|----------|----------|--|---|-------------------------------|
| 基本方針①<br>町民の生活と交流を支える地域公共交通の構築    | 路線バス利用者数                 | 路線バスの利用者数から、町民の日常生活に必要な移動手段が維持・確保されているかを評価する。 | 現状維持      | 人/日  | 844     | 844           | 596      | 547      | 609      | 620      | 園児向けバスの乗り方教室、ギャラリーバスの実施といった利用促進策の結果、前年度実績から11人の増となった。<br>関係者との協議を行い町民のニーズに即した運行経路やバス停の検討を行うとともに、引き続き園児向けのバス乗り方教室や出前講座等を開催し、バスの利用促進を図る。   | ・令和6年度乗降調査結果(会津乗合自動車(株)提供)  |                               |
|                                   | 美里あいあいタクシーの利用者数          | 地域内交通の利用者数から町民の移動ニーズに即しているかを評価する。             | 増加        | 人/年  | 28,000  | 24,954        | 22,235   | 23,411   | 23,940   | 24,350   | 町民から要望のあった坂下厚生総合病院便の実証運行の開始やデマンド交通使い方の出前講座等のPRの結果、前年度実績から410人の増となった。なお、坂下厚生総合病院便の利用者数は、令和6年6月から令和7年3月までの実証期間で延べ82人であった。<br>引き続き坂下厚生総合病院便の実証運行を行い、本運行に向けた検討を行うとともに、新規利用者の獲得に向けてノベルティグッズ作成や出前講座等によるPRを実施する。  | ・美里あいあいタクシー利用者データ<br>平日利用者数：20,359人<br>休日利用者数：3,581人  |                               |
| 基本方針②<br>利用者ニーズに合わせた便利で快適な公共交通の構築 | ユニバーサルデザイン車両の導入率         | 利用しやすい環境づくりが図られているかを評価する。                     | 増加        | %    | 100     | 60            | 82.1     | 75       | 79       | 81       | 美里あいあいタクシーの運行車両数に占めるユニバーサルデザイン車両数は1台/6台(前年度：2台/6台)、路線バスの運行車両数に占めるユニバーサルデザイン車両数は25台/26台(前年度：21台/23台)であった。<br>トータルでは26台/32台で導入率は81%となり、前年度実績から2ポイント向上した。<br>引き続き、交通事業者の協力のもと車両更新の際にはユニバーサルデザイン車両の導入を促進する。  | ・交通事業者への聞き取り結果(内訳)<br>美里あいあいタクシー：車両数6台、うちUD車両数1台<br>路線バス：町内運行車両数26台、うちUD車両数25台<br>合計：町内運行車両数32台、うちUD車両数26台(81%)   |                               |
|                                   | 交通拠点における乗り継ぎ環境の整備箇所数     | 乗り継ぎ拠点の整備状況から、まちづくりと連動した地域公共交通が構築されているかを評価する。 | 増加        | カ所   | 8       | 3             | 6        | 6        | 6        | 6        | 計画策定当初に想定していた8箇所の拠点のうち、①じげんプラザ、②本郷庁舎、③新鶴庁舎、④情報センター「まっちゃん処」、⑤高田インフォメーションセンター、⑥本郷インフォメーションセンターの6箇所については、路線バスの①～③敷地内への乗り入れ、デマンド交通の時刻表撤廃等により、まちづくりと連動した乗り継ぎ環境が整備されている状態である。<br>一方で、⑦会津高田駅、⑧新鶴駅については、引き続き地域住民が利用しやすいダイヤ要望、二次交通としてのデマンド交通の周知を行い、乗り継ぎ環境の整備を進める。 | ・整備済：6箇所(じげんプラザ、本郷庁舎、新鶴庁舎、情報センター「まっちゃん処」、高田インフォメーションセンター、本郷インフォメーションセンター)<br>・未整備：2箇所(会津高田駅、新鶴駅)  | R2.10.1～本郷庁舎、新鶴庁舎へ路線バスの乗り入れ開始 |
|                                   | 交通拠点における乗降者数             | 乗り継ぎ拠点の利用状況から、まちづくりと連動した地域公共交通が構築されているかを評価する。 | 増加        | 人/日  | 50      | 39            | 27       | 28       | 26       | 24       | 前年度実績から2人の減となり、2年連続の減となった。<br>各公共交通機関の接続強化を図るため、デマンド交通については令和4年11月から希望時間に応じた予約を可能にして、他の公共交通機関への接続強化を図っているが、交通拠点における乗降者数はAIシステム導入前である令和3年度からほぼ横ばい状態となっており、デマンド交通のPRや交通拠点の環境整備を進め、更なる利用促進を図る。  | ・路線バス乗降調査結果及び乗降調査実施日における美里あいあいタクシー利用者データから算出<br>(主要な交通拠点(じげんプラザ、本郷庁舎、新鶴庁舎、情報センター「まっちゃん処」、高田インフォメーションセンター、本郷インフォメーションセンター)における路線バス及び美里あいあいタクシーの乗降者数)   |                               |
| 基本方針③<br>まちづくりと連動した地域公共交通の構築      | 多様な分野・主体と連携した利用促進の取り組み件数 | 多様な主体と連携した利用促進の取り組みが展開されているかを評価する。            | 増加        | 件/年  | 3       | 1             | 4        | 12       | 9        | 8        | こども園との日程が合わず、路線バス乗り方教室実施件数が前年度実績から1件の減となり、実績値としても1件の減となった。<br>今後も引き続き教育分野及び観光分野と連携して、町内公共交通の利用促進及び二次交通としてのデマンド交通の利用促進を図る。  | ・教育分野との連携：7件(内訳)<br>①町内こども園における路線バスの乗り方教室の実施件数：3件(町内3こども園)<br>②町内こども園における只見線・デマンド交通PRノベルティグッズ配布件数：4件(町内4こども園)<br>・観光分野との連携：1件(観光客に対する只見線・デマンド交通PRノベルティグッズ配布)  |                               |
| 基本方針④<br>将来的に持続可能な地域公共交通の構築       | 公共交通の運行に関する町負担額の維持       | 持続可能な公共交通網が形成されているかを評価する。                     | 現状維持      | 千円/年 | 26,272  | 26,272        | 44,096   | 53,008   | 58,473   | 68,079   | 燃料費の高騰やデマンド交通システムランニングコストの増額、車両借上料の増額等の影響により、前年度実績から9,606千円の増となり、目標値を大幅に上回った。<br>令和7年度は持続可能な公共交通のあり方を定める地域公共交通計画を策定するとともに、引き続き町内公共交通の利用を促進するための施策(出前講座、バス乗り方教室)の展開やデマンド交通の利便性向上に向けた取組を行い、町の負担額減少を図る。   | ・令和6年度決算額<br>(町が交通事業者に交付した補助金額-国・県補助金収入額)<br>デマンド交通：38,983,413円 (R5：32,686,670円)<br>路線バス：29,096,064円 (R5：25,786,425円)   |                               |
|                                   | 公共交通主体の利用促進の取り組み件数       | 多様な主体の連携・協働をとり組み内容から評価する。                     | 増加        | 件/年  | 10      | 5             | 7        | 23       | 13       | 13       | 路線バス乗り方教室実施件数及び情報発信件数がそれぞれ前年度実績から1件減となったものの、デマンド交通の使い方出前講座実施件数(2件実施)の増により、トータルでは前年度実績からの増減はなかった。<br>教育分野、観光分野、情報分野等の多様な主体と連携した取組を継続して実施できており、引き続き各分野の協力を得て利用促進の取組を実施していく。  | ・利用促進の取組実績：13件(内訳)<br>①路線バス乗り方教室の実施件数：3件(認定こども園各1回、本郷こども園、新鶴こども園各1回)<br>②ギャラリーバスの運行件数：3件(高田線、本郷線、新鶴線各1回)<br>③只見線応援キャラクター「キハちゃん」を活用した只見線・デマンド交通PRノベルティグッズ作成件数：1件<br>④只見線・デマンド交通PR件数：1件(ノベルティグッズを町内こども園児童及び観光客に配布)<br>⑤情報発信・町広報紙記事掲載件数：1件(町広報5月号に只見線フォトスポット特集記事掲載)<br>⑥只見線利用者へのおもてなし件数：2件(会津高田駅前・新鶴駅前町商工会による冬季イルミネーション実施)<br>⑦デマンド交通の使い方出前講座実施件数：2件 |                               |